

企業調査レポート
(決算速報)

安藤証券株式会社
調査部：土田 陽一
平成 24 年 2 月 2 日

日東電工 (6 9 8 8)

業績推移 (連結ベース、単位は E P S、配当が円、他は百万円、予は会社側予想)

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	E P S	配当
10/3	601,859 +4.1%	56,086 4.1 倍	58,833 4.0 倍	37,570 140.7 倍	225.52	40.00
11/3	638,556 +6.1%	85,245 +52.0%	85,143 +44.7%	55,743 +48.4%	337.36	90.00
12/3 予	610,000 -4.5%	57,000 -33.1%	58,200 -31.6%	31,000 -44.4%	188.49	100.00

主要株価指標 (株価、配当利回りのカッコ内は日付)

株 価	連結 P E R	連結 P B R	配当利回り
2,771 円 (2 / 1)	14.7 倍 (12 / 3 予)	1.1 倍 (11 / 12)	3.6 % (2 / 1)

業績動向

2011年4 - 12月期の連結業績は、自動車業界向けテープ製材が回復傾向となっているほか、スマートフォンやタブレットPC向け両面粘着テープが好調に推移した一方、主力の液晶表示材料で液晶テレビの需要が低迷したほか、スマートフォンやタブレットPC向けでも年末にかけて生産調整の影響から減速、円高の影響などもあり、減収2ケタ減益の結果となった(4 - 12月期実績は売上高が前年同期比4.4%減、営業利益が同29.2%減、経常利益が同27.5%減、当期利益が同33.3%減)。

会社側は2012年3月期通期の業績予想を再度下方修正、売上高は4 - 9月期(中間期)決算発表時に修正した会社側予想を300億円、営業利益は同80億円、経常利益は同75億円、当期利益は同95億円下回る見通しである。自動車向け各種材料が底堅く推移しているほか、前提となる為替レートは1ドル=77円で変更はないが、主力の液晶表示材料の回復が液晶テレビ向け、スマートフォンやタブレットPC向けとも当初の想定よりずれ込む見込みとなったほか、HDD向けプリント回路でタイの洪水による影響が1 - 3月期にも残ること、構造改革費用を積み増すことなどが下方修正の要因となっている。現時点で会社側予想は概ね妥当なものと思われるが、エレクトロニクス向け各種材料には依然として不透明感が残っているものと思われる。

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、銘柄の選定、投資判断の最終決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は、信頼出来ると考えられる情報に基づいて作成されていますが、安藤証券は、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、今後、予告なく変更される事があります。事前の了承なく複製または転送等行わないようお願いいたします。